

## 福山市ネーミングライツ拡大に関するサウンディング型市場調査の結果について

### 1 調査の趣旨

市の施設を有効活用し、民間事業者等の地域貢献の促進及び新たな財源を確保することを目的として実施しているネーミングライツ（施設命名権）制度について、市が提示する施設だけではなく、対象となる施設、対価、期間等について、幅広く提案を受ける「民間提案型」ネーミングライツの実現可能性と、地域貢献活動をネーミングライツの対価とした場合の具体的な内容等について、民間事業者等の考え方を把握するため、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その概要を公表します。

本調査の結果を精査し、ネーミングライツ拡大について検討してまいります。

※参加事業者の承諾を得た内容のみを公表します。

### 2 実施内容

- (1) 調査の名称 福山市ネーミングライツ拡大に関するサウンディング型市場調査
- (2) 募集期間 2022年（令和4年）9月21日から10月21日まで
- (3) 参加事業者数 2事業者

### 3 調査結果概要

- (1) 福山市のネーミングライツの市場性について
  - ・地元貢献として興味を持ち、ネーミングライツに取り組みたい事業者は多い。
  - ・学区ごとにある施設を複数まとめて実施することも可能。
- (2) ネーミングライツに興味がある施設について
  - ・公民館、交流館、コミュニティーセンター
  - ・駅周辺の公衆トイレ、公園の公衆トイレ
- (3) ネーミングライツを取得するメリットなど
  - ・自社事業のPR及び地域貢献として具体を提示できる。
  - ・自社が施工した公共施設の維持管理へ貢献したい。
- (4) ネーミングライツの期間、対価について
  - ・施設で使う消耗品を寄附
  - ・清掃活動に必要な物品の寄附又は清掃（役務の提供）
  - ・市の業務への協力
- (5) 事業公募を行った場合の関心、対応可否について
  - ・関心が高く、社会貢献の実現のため、ぜひ応募したい。
  - ・自社の提案（運営面等）が採用されるのならば、応募したい。
- (6) その他
  - ・ネーミングライツだけではなく、管理業務等を一括で行うことができれば、施設の有効活用、運営の効率化が実現できる。
  - ・役務や物品の寄附の具体例が提示されていると、提案しやすい。
  - ・すべての施設が対象でも、具体的な施設リストがあったほうが良い。